

「糸島市農力を育む基本計画」に掲げる目標値の進捗状況（令和3年度分）

（資料1）

第1節 多様な担い手の育成確保・産地育成・農業経営の確立

施策（1）多様な担い手の育成と人材活用

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
認定農業者数の減少抑制 (R7推計値350経営体)	372経営体	363経営体					362経営体	認定農業者の申請支援	新規申請では、農業を主業とする農業者が他産業従事者並みの生計所得に相当する年間農業所得、年間労働時間の水準を目標とし、各関係機関に意見照会や本人面談をし認定している。更新申請では、認定期限の3か月前から更新通知を行い、申請されるまで計3回通知を出し、再認定を促している。		農業振興課
								認定農業者連絡協議会の支援	認定農業者で構成される認定農業者連絡協議会へ支援を行うことで、認定農業者の研修、交流、情報共有を通じて質の向上と育成を図っている。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で研修会等開催できなかった。	83	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
認定新規就農者から認定農業者に認定された人数（計画期間中累計）	13人	5人					13人	糸島市新規就農者ネットワーク協議会への支援	市内で就農している認定新規就農者などを対象に農業経営及び農業技術の向上等を図るため、ネットワークを立ち上げ支援をしている。令和3年度は研修会等は開催することができず、情報提供などのみ実施。令和4年度は新型コロナウイルス感染症の流行の状況を踏まえて、研修会や視察などを実施する予定。	6	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
農用地のうち認定農業者等に利用集積される農用地の面積割合	57%	58.2%					60%	農地中間管理事業	従前のJAによる農地利用円滑化事業により認定農業者への集積が進んでいる。現在は円滑化事業が廃止され、JAに代わって県農地中間管理機構が農地の貸し手から借り受け、中間管理して、地域の意欲ある担い手に貸し付けを行っている。今後もこの事業を活用することにより認定農業者への集積を加速させていく。	669	農地政策課 (農業委員会)

施策（2）収益性の高い農業経営の確立と産地育成、スマート農業の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
農業就業人口一人当たりの農業産出額	536.5万円						575.6万円	—	農林業センサスで集計（次回：令和7年）各取組による認定農業者等への農地の集積や国県・市の補助事業の活用による機械の導入など、収益性の高い営農に取り組みよう支援を行う。		農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
販売金額が年間1,000万円以上の農業経営体数	340経営体						350経営体	—	農林業センサスで集計（次回：令和7年）		農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
スマート農業機械・施設の導入件数（累計）	0件	10件					20件	経営持続化支援事業等	経営持続化支援事業で、スマート農業機械を優先的取組とし、導入を加速させた。	31,148	農業振興課

施策（3）新規就農の促進・支援

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
新規就農者数（累計）	13人/年	16人/年					64人	—	市と農業委員会、JA系島、県普及指導センターが連携し、就農希望者の就農相談や就農後の経営相談等を実施し、就農及び定着に取り組んだ。	—	農業振興課
内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
農業研修生を受け入れるまちづくり事業による研修生数（累計）	0人	0人					10人	農業研修生を受け入れるまちづくり事業	JA系島のいちご・アスパラガス研修制度や福岡県農業大学の研修、農の雇用事業等、農業研修制度が充実してきたため、市の研修事業を活用する就農希望者が減少している。就農相談などを通じて事業の利用が必要な対象者には都度周知を図る。	—	農業振興課

第2節 地域で生産される食料の信頼の確保

施策（1）安全で安心できる農畜産物生産の支援

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
環境保全型農業直接支払事業取組面積	67.06ha	76.19ha					86ha	環境保全型農業直接支払交付金事業	環境に負荷のかからない農業に取り組む農業者団体に対して、慣行農業とのコスト差を、取り組み内容（堆肥の施用や有機農業等）を基に面積に応じて補助する。	7,363	農業振興課
内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
農薬講習会開催回数	1回/年	1回/年					1回/年	—	JA系島において、班ごとに農薬の適正使用等の講習会を実施している。	—	農業振興課
内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
家畜伝染病予防講習会開催回数	1回/年	0回/年					1回/年	—	畜産環境保全組合での研修を予定していたが、新型コロナウイルス感染症流行のため研修会の実施は見送り、啓発資料の送付を行った。	—	農業振興課

第3節 生産基盤の維持、保全等による農村が有する多面的な機能の発揮

施策（1）農村集落の活性化

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
「多面的機能支払事業」や「中山間地域等直接支払事業」に取り組む組織数	98集落	98集落					100集落	中山間地域等直接支払交付金事業	中山間地域と平地との生産コストの差額分を、傾斜と地目（田・畑）を基に面積に応じて補助する制度。協定書に基づいて、中山間地域を守る活動（農道や水路の保全など）に取り組む。	40,453	農業振興課
								多面的機能支払交付金事業	農業生産者及び地域住民が一体となって農地や農業用施設等の農村環境を保全する活動に対し、支援を行う。	150,825	農地政策課
内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
地域が保安全管理する農地割合	77%	77.6%					78%	多面的機能支払交付金事業	農業生産者及び地域住民が一体となって農地や農業用施設等の農村環境を保全する活動に対し、支援を行う。	150,825	農地政策課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
体験プログラム（農業関連）市内での開催回数	4回	12回					6回	糸島キッズファーム事業	耕作放棄地等の遊休地を利用し、市内子どもたちや観光客等に、様々な農作業を体験できる農業体験の場を開催する。目的に沿った事業者に対して事業費の一部を補助する。	375	農業振興課
								-	市（観光振興係）主催で実施している事業はないが、一般社団法人糸島市観光協会（DMO）を軸に、体験プログラムの開発、実施、PR等ができるようにDMO組織全体の支援を行っている。 ※R2年度まで糸島広域連携プロジェクトにおいて糸島学体験プログラム事業を実施した。今後は、糸島学体験プログラム事業で集客、収益性の高かった事業についてDMOが自走して運営していく予定。	-	ブランド推進課

施策（2）優良農地の保全

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
耕作放棄地の再生利用面積	23.32ha	27.52ha					40ha	耕作放棄地対策事業	農業従事者の高齢化、労働力不足に等により農地の引き受け手がなく、耕作放棄地が増加している。耕作放棄地の増加に歯止めをかけ、また解消を促進させるため、一定の要件を満たす農業者等に対して定額の補助を行っている。	703	農地政策課（農業委員会）
侵入防止柵の未設置地域での整備延長	466.1km	573.5km					922.1km	福岡県鳥獣被害防止総合対策交付金事業	鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、農業者の農作物被害を未然に防止するため、侵入防止柵の配付を行う。 R3 ワイヤメッシュ柵 27.2km 電気柵 51.3km	30,614	農地政策課
大入地区及び沖田地区ほ場整備面積	0ha	0ha					53.3ha	経営体育成基盤整備事業	県営事業にて、農業基盤の整備を一体的に行い、食料自給率の向上及び農業経営の安定を図る。 沖田地区35.2ha、大入地区18.1ha。R5完了予定。	80,900	農地政策課

第4節 農業の資源循環機能の維持及び環境保全

施策（1）環境保全型農業の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
環境保全型農業直接支払事業取組面積 ※再掲	67.06ha	76.19ha					86ha	環境保全型農業直接支払交付金事業	環境に負荷のかからない農業に取り組み農業者団体に対して、慣行農業とのコスト差を、取り組み内容（堆肥の施用や有機農業等）を基に面積に応じて補助する。	7,363	農業振興課
稲わらとたい肥の交換による畜産たい肥施用面積の拡大	57.7ha	69.2ha					60.6ha	耕畜連携資源循環助成	産地交付金事業において、水田で生産された粗飼料等の供給を受けた家畜由来の堆肥を水田に施肥する取組に助成を行った。	8,284	農業振興課

施策（２）バイオマス利活用の取組の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
畜産農家に向けたバイオマスに関するセミナー等の開催数	0回	0回					1回	—	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で研修会等開催できなかった。	-	農業振興課
バイオマスを活用したエネルギー創出に取り組む事業所数	0事業所	0事業所					2事業所	バイオマス産業都市ネットワーク推進事業	施設建設には多大な資金が必要であるなどの課題があり、事業実施主体が事業着手に踏み切れていない。現在、計画の見直し等が行われている。	10	農業振興課

第5節 地産地消の推進

施策（１）地域食材の利用促進、地産地消のPR

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
市内直売所の売上額	62億円	60億円					65億円	直売所活性化事業	活性化補助はイベント開催支援で1件。新型コロナウイルス感染症の影響で申請が伸びなかった。	100	農業振興課
								直売所ネットワーク会議	糸島市直売所ネットワーク会議を通じて直売所間の連携強化を図っている。また、研修会（ふるさと納税や食品安全管理等）を開催し、直売所のスキルアップを図った。新型コロナウイルス感染症の影響で売り上げは落ちたが、令和2年から見ると回復傾向にある。	-	農業振興課
地産地消を意識し、糸島産農林水産物を積極的に購入している市民の割合	73.1%	69.9%					78.0%	—	※R3市民満足度調査（常に意識して購入している 19.7% ある程度意識して購入している 50.2% 計69.9%） 令和2年度に比べ、2ポイント減少した。今後も地域食材の消費促進のため情報発信などを実施していく。	-	農業振興課

施策（２）特産品づくりの支援や加工所・生産組織の育成推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
新たに開発した特産品数	3件	1件					5件	経営革新事業者補助事業	新商品の開発や新たな販売方法の導入など、積極的に経営革新に取り組む中小企業者に「がんばる中小企業者応援補助金」を支給し応援する事業。市内産の農林水産物を使用する新商品開発に対しては補助上限額の優遇がある。	3,406	商工振興課

第6節 食育の推進

施策（1）家庭・地域における食育の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
栄養に関する情報発信（広報、ホームページ、SNSなど）の回数	5回	11回					17回	栄養に関する情報発信	時節に合わせた健康レシピを広報いとしまやコミュニティセンターへ掲載。 市民が栄養について学習できる講座（栄養講座）について広報いとしまやホームページも用いて、広く参加者を募集した。	12	健康づくり課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
個別栄養指導回数	44回	58回					62回	集団健診時健康相談	集団健診（総合健診、コラボ健診）当日判明する結果が特定保健指導、重症化予防対象に該当する人に実施。	-	健康づくり課
								個別健康相談	特定健診結果から生活習慣の改善の必要な人に実施。	-	健康づくり課

施策（2）小・中学校における食育の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
給食時及び総合学習等において食育等に取り組む小中学校数（農業体験含む）	22校	22校					22校	学校教育における食育の推進	年間指導計画に基づく教科等における取組、食生活における自立的能力を育む取組、食材や生産者への感謝の心を育む取組、糸島産食材を活用した郷土理解の促進、食文化への理解を促進する取組などを通して、命を育む食育を推進する。	-	学校教育課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
学校給食における糸島産農産物の使用割合（重量ベース）	37.5%	40.7%					40.0%	学校給食における糸島産食材活用の推進	農業振興課との連携をもとに、生産者の情報を学校に適切に提供し、学校給食における糸島産食材の使用率向上を図る。	-	学校教育課

施策（3）学習・体験活動による食育の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
ドリームトレーサーにおける調理体験の実施回数	4回	0回					4回	ドリームトレーサー	糸島の自然や友だちの素晴らしさ・大切さを学び、たくましい大人に育つことを願い、自然体験を中心とした様々な体験活動を実施。対象は小学4～6年生。 例年は活動のなかで野外調理等を実施するが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。	-	生涯学習課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
どんぐりにおける調理体験の実施回数	4回	0回					4回	糸島チャレンジクラブ「どんぐり」	異年齢の仲間が集まり、家庭や学校ではなかなか体験できない活動を通して、「生きる力」を身につけることを目的とした事業。対象は中学生・高校生。 例年は活動のなかで野外調理等を実施するが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。	-	生涯学習課

施策（４）食文化の継承と国際交流の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
糸島市国際交流協会主催事業への参加者数（3事業）	310人	0人					325人	カレービュッフェ 世界の料理教室 そうめん流し	糸島市国際交流協会主催事業への補助を行うことで、食文化の継承や国際交流の推進を図る。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。	-	コミュニティ推進課
内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
栄養に関する情報発信（広報、ホームページ、SNSなど）の回数 ※再掲	5回	11回					17回	栄養に関する情報発信	時節に合わせた健康レシピを広報いとしまやコミュニティセンターへ掲載。 市民が栄養について学習できる講座（栄養講座）を開催すると共に広報いとしまやホームページも用いて、広く参加者を募集した。	12	健康づくり課

第7節 グリーンツーリズムの推進及び農業公園の果たす役割

施策（１）グリーンツーリズムの推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
体験プログラム（農業関連）市内での開催回数 ※再掲	4回	12回					6回	糸島キッズファーム事業	耕作放棄地等の遊休地を利用し、市内の子どもたちや観光客等に、様々な農作業を体験できる農業体験の場を開催する。目的に沿った事業者に対して事業費の一部を補助する。	375	農業振興課
								-	市（観光振興係）主催で実施している事業はないが、一般社団法人糸島市観光協会（DMO）を軸に、体験プログラムの開発、実施、PR等ができるようにDMO組織全体の支援を行っている。 ※R2年度まで糸島広域連携プロジェクトにおいて糸島学体験プログラム事業を実施した。今後は、糸島学体験プログラム事業で集客、収益性の高かった事業についてDMOが自走して運営していく予定。	-	ブランド推進課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
連携した取組実践件数（累計）	0件	0件					10件	JA・JF・商工会・観光協会などの連携会議の設置	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、連携会議は実施できなかった。	-	経営戦略課

施策（２）糸島市農業公園「ファームパーク伊都国」を拠点とした事業の展開

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
ファームパーク伊都国の年間施設利用者数	41,588人	25,593人					50,000人	—	伊都国即売会来場者数で集計。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「農力祭」や「収穫祭」といった体験イベントなどを開催することができなかった。	—	農業振興課

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
ファームパーク伊都国ホームページ閲覧数	148,458PV	22,464PV					180,000PV	—	指定管理者である（株）フロンティアアドバンスにおいて、ホームページ閲覧数が増えるようにイベントや季節物の農畜産加工品の入荷状況等の随時更新を行った。例年閲覧数が増える農力祭、収穫祭のイベントが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したので閲覧数が増えなかった。	—	農業振興課

第8節 女性農業者が持つ力の発揮

施策（１）女性農業者及び女性農業組織の活動支援

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
農業女性グループ等が実施する消費者との交流事業数	16事業	0事業					16事業	糸島市農業女性の会「らた葉」への支援	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、糸島市民まつりの出店や児童クラブでのみそ作りなど、市民との交流・食育活動を行うことができなかった。	—	農業振興課

施策（２）女性農業者の各種農業施策への参画の推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
市が委嘱・任命する農政関連附属機関における女性委員比率	26.7%	27.60%					40.0%	—	農力を育む市民推進会議（7人／15人） 農業振興地域整備促進協議会（1人／14人）	—	農業振興課

施策（３）家族経営協定の締結推進

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
市が立会人となった家族経営協定の累計締結数	82件	87件					102件	—	規模拡大や経営の多角化等で、農業女性や後継者が経営に参画する農家は増えているが、協定の締結までには至らず、件数は鈍化している。今後は新規の締結だけでなく、既に締結している協定の見直し支援なども検討していく。	—	農業振興課

第9節 九州大学を始めとする産・学・官の連携

施策（1）連携協定締結大学等との事業の展開

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
「アグリコラボいとしま」の会員数	80人	100人					100人	糸島農業産学官連携 推進協議会	協議会で農業に関するパネルディスカッション1回、ワークショップ2回、視察1回実施。これらを通じて糸島地域の農業者、九州大学、農業関係機関が集まり情報交換を行っている。参加した方が会員登録をされたため、会員数が増加した。	-	農業振興課
生産現場と研究シーズのマッチング 件数（累計）	0件	7件					20件	糸島農業計画会議 産学官連携プロジェクト	糸島農業計画会議に設置する各班（普通作、野菜、果樹、花き、畜産、女性・青年、新規就農）において、九州大学と連携した活動を実施した。	313	農業振興課

施策（2）特産品等調査研究事業の実施

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
新たに開発した特産品数 ※再掲	3件	1件					5件	経営革新事業者補助 事業	新商品の開発や新たな販売方法の導入など、積極的に経営革新に取り組む中小企業者に「がんばる中小企業者応援補助金」を支給し応援する事業。市内産の農林水産物を使用する新商品開発に対しては補助上限額の優遇がある。	3,406	商工振興課

第10節 農力を育み、発揮する取組の情報発信

施策（1）農力への理解を進める情報の発信

内 容	現状数値 (R1)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	目標数値 (R7)	数値目標に関連する 主な事業等	内 容	事業費 (千円)	担当課
市ホームページ農業関連ページ閲覧 数	44,778PV	48,663PV					54,000PV	-	市内直売所や市民農園に関するページが農業関連では上位となっている。今後も情報発信に努めていく。	-	農業振興課
ふるさと応援寄附返礼品サイトに参 加する直売所数	6直売所	7直売所					15直売所	直売所ネットワー ク会議研修会	令和3年12月3日に直売所ネットワーク会議会員に向けてふるさと応援寄附の活用に関する研修会を実施した。市内直売所でのふるさと応援寄附を利用した寄附額は令和2年度40,025千円から令和3年度94,785千円と2.3倍以上の増加となった。今後も活用に向けた周知を図っていく。	-	農業振興課